

議長団・諸係

議長

徳田 卓仁 代議員（盛四分会）
岩淵 香清 代議員（北上翔南分会）

議事運営委員

委員長：高野 光生 代議員（盛農分会）
橋本 陽子 代議員（花巻支援分会）
佐藤 由紀子代議員（一関支援分会）
及川 朝美 代議員（高現組・水沢商業分会）

議事録署名委員

多田 裕也 代議員（盛三分会）
小田島 哲男代議員（伊保内分会）

起草委員

切田 壮 代議員（花北分会）
中田由巳子 代議員（黒工分会）
伊藤 寿一 代議員（関一分会）

年度内新採用加入100%達成支部
盛岡北支部・北上支部

おもな討議から

《運動方針決定に関する件》

◎昨年度の運動の総括が必要ではないか。経過報告のみとなっている。
例えば高校再編は、どのような運動があったのか。また、人事情報が該当者に入ってこないことがある。

→再編は情報提供の工夫が足りなかった。人事は再任用、65歳まで働くことを見込んで、58、59歳の異動もある。54、55歳あたりが最後の異動と県に働きかける。人事は早めの情報提供を今後も強く働きかけていく。

◎衛生管理者になっていることを養護教諭や体育の教員はどう思っているのか。

→負担が大きい、資格のある人に安易に当てているという意見が出ている。労安は大切。管理職が振り当てられることもあるが、現場でのとりくみをお願いしたい。

◎教職員が子どもたちとどう関わっていくかの視点が大切。SC任せにするなど問題あり。

→SCがいないと困るということは現場からも言われている。現場での調整が必要。教職員の意識は教研活動の中で話し合うことで、広がりを作る。

◎高校再編は私たちの運動の成果。PTAや地域から高校再編を考えていかなければならない。基準でも人事が動かない例があるが、どうしてなのか説明できないか。

→機械的人事は行わないように申し入れしている。管理職から説明をきちんとするように働きかけたい。人事基準も色々な事情に合わなくなっているのかもしれないが、平等であるということを強く申し入れる。

◎内陸部の教員住宅は古いまま。実態把握しているのか。

→沿岸部は8～9割の充足率。内陸については把握し切れていない。管理を担当する高現組から説明してもらおう。

→教員住宅の管理は現業と事務室。破損や故障などあれば学校修繕費から支出する。管理するのは大変。空き家であっても草刈りなどする。きれいに使ってほしい。

◎実習助手（臨時採用）の本採化に向けて、どのようにとりくんでいるのか。

→3日間の空白期間は会計年度任用職員制度導入によりなくせそう。公立学校共済にも加入できるようになる。採用試験過去問題のCDを分会に送っている。実習教諭の記述もある。

◎他県では70km以上の通勤区分を設けたという話もあるが。

→権利については、他県均衡をいいながら、情報の開示は後出し的。この問題にとりくんで2年めなので前進するとおもうが、遠距離通勤容認にはつなげたくない。

